

(8) 下水道事業会計決算の状況

ア 総括事項

平成29年度の下水道事業は、平成23年1月に策定した流山市流域関連公共下水道基本計画説明書(平成36年度まで)(以下「基本計画」という。)及び、江戸川左岸流域関連公共下水道事業計画及び手賀沼流域関連公共下水道事業計画に基づき、既成市街地の污水管整備及び雨水管整備、つくばエクスプレス関連区画整理事業に伴う污水管整備及び雨水管整備を実施した。

この結果、下水道普及率は1.71パーセント増加し、86.92パーセントとなった。

また、平成29年度は、平成28年度・29年度の継続事業として、財政計画と投資計画の整合性を図るべく平成30年度から平成39年度までの10年間を対象とした、流山市下水道事業経営戦略を策定に取り組んだ。今後は4年毎に見直しを行っていく。

一方、収入面において、営業収益で、処理区域内人口及び処理面積の増加に伴い、下水道使用料が増加となったが、営業外収益で、他会計負担金の減少及び長期前受金戻入の減少のため、収益全体では1.26パーセント(37,973,501円)の減額となった。

費用面においては、営業外費用及び特別損失で減少となったものの、営業費用の減価償却費及び流域下水道維持管理負担金等の増加により、費用全体では、1.38パーセント(40,605,005円)の増加となり、損益では1,666,755円の赤字となった。

資本的収入においては、今年度も水道事業会計から400,000,000円の長期借入れを行った。

イ 建設事業

既成市街地の污水整備の内、江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業については、東深井地区約3ヘクタール、美原地区約1ヘクタール、西初石地区約1ヘクタール、向小金地区約14ヘクタールの整備を行い、手賀沼流域関連公共下水道整備事業については、駒木地区約4ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。

雨水幹線の整備については、向小金雨水幹線整備事業の内、東日本旅客鉄道株式会社常磐線の軌道下横断工事約40メートルが完成し、向小金地域の浸水対策を図った。また、大堀川1号雨水幹線整備事業の内、雨水幹線工事約90メートルを行い、東初石・美田地区の浸水対策を図っている。(平成30年度への繰越事業)

更に、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る污水管整備として、新市街地区約8ヘクタール、運動公園周辺地区約2ヘクタール、西平井・鱒ヶ崎地区約2ヘクタール、鱒ヶ崎・思井地区約3ヘクタール、木地区約7ヘクタールの整備を行い、水質汚濁防止及び住環境の向上を図った。雨水管整備として、新市街地区約3ヘクタールの整備を行い、浸水対策を図った。

ウ 業務の状況

平成29年度末の排水区域人口は162,427人で、平成28年度に比べ7,563人増加し、下水道普及率は86.92パーセントとなった。

年間有収水量は14,735,284立方メートルとなり、平成28年度に比べ682,897立方メートルの増となった。

また、下水道使用料の不納欠損金処理は、175件、516,388円で、平成28年度に比べ473,002円の減となった。

エ 経理の状況

収益的収入は、3,130,095,332円で、平成28年度に比べ55,339,220円の減少となった。この主な要因は、営業外収入の他会計負担金及び長期前受金戻入の減額。また、特別利益が今年度はなかったものである。

一方、収益的支出は、3,060,270,007円で、平成28年度に比べ42,138,923円の増加となった。この主な要因は、減価償却費及び下水道使用料の伸びに比例して流域下水道維持管理負担金が増加したものである。

この結果、平成29年度の損益は、税抜きによる収益的収入が2,979,754,533円、収益的支出が2,981,421,288円で、収入から支出を差し引くと1,666,755円の純損失となった。

資本的収入は、2,946,580,332円で、平成28年度に比べ14,028,974円の減少となった。その主な要因は、事業繰越しに伴う国庫補助金及び工事負担金の減少によるものである。この資本的収入のうち、負担金480,709,527円は、資本的支出の建設改良費に充てるための受益者負担金130,557,067円、つくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、独立行政法人都市再生機構及び千葉県各区画整理施行者並びに流山市との協定に基づき収入する工事負担金215,018,340円、近隣市との協定に基づき収入する共用管建設及び雨水幹線工事負担金並びに認可区域外の下水道接続に伴う受益者負担金相当額の開発者負担金135,134,120円である。

一方、資本的支出は、3,248,361,260円で、平成28年度に比べ

302,002,951円の減額となった。その主な要因は、つくばエクスプレス沿線整備事業費で新市街地地区整備の終了に伴うものである。

オ 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第69号	平成29年度流山市下水道事業会計補正予算(第1号)	H29. 8.31	H29.10. 2
議案第72号	平成28年度流山市下水道事業会計決算認定について	H29. 8.31	H29.10. 2
議案第29号	平成30年度流山市下水道事業会計予算	H30. 2.15	H30. 3.19
議案第30号	平成29年度流山市下水道事業会計補正予算(第2号)	H30. 2.15	H30. 3.19

カ 職員に関する事項(再任用職員を除く)

職種	平成30年3月31日 現在の職員数(人)	平成29年3月31日 現在の職員数(人)	増減 (人)
事務職員	7	7	0
技術職員	10	10	0
合計	17	17	0